

## <IPA 情報発信第 135 号の内容>

### I. 今月のトピックス

#### 1. 注意喚起「IPA の注意喚起メールを騙った不審メールに注意！」を実施

IPA の名前を騙った不審メールが出回っていることを確認しました。当該不審メールにはウイルス感染を目的とした添付ファイルが付いているため、注意喚起を 7 月 17 日 (金) に実施しました。

#### 2. 「情報の価値を最大化する『共通語彙基盤』セミナー」開催のご案内と福岡開催の開催報告

IPA は 9 月 3 日 (木) 仙台、9 月 4 日 (金) 札幌、9 月 11 日 (金) 大阪、9 月 17 日 (木) 新潟で、共通語彙基盤説明会を実施します。九州からスタートした「共通語彙基盤」への理解を広げるための全国でのセミナーを引き続き実施していきます。

### II. セキュリティセンター

1. 8 月の呼びかけ「ウイルスを検出したと音声で警告してくるウェブサイトにご注意！」を公開
2. 注意喚起「ウェブサイトへのサイバー攻撃に備えた定期的な点検を」を実施
3. 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況
4. ソフトウェア等の脆弱性関連情報に関する届出状況
5. コンピュータウイルス・不正アクセスの届出状況および相談状況
6. サイバー情報共有イニシアティブ (J-CSIP) 運用状況
7. 重要なセキュリティ情報 (7 月)

### III. ソフトウェア高信頼化センター (SEC)

1. 「2015 年度 JUAS システム開発・保守 QCD 研究プロジェクト合宿」にて講演
2. 「IT 検証フォーラム 2015」にて講演
3. 「2015 年度第 1 回 ITC 近畿会セミナー「IPA/SEC セミナー」」にて講演
4. SEC セミナー開催報告 (7 月) および開催案内 (8 月)

### IV. 国際標準の推進

1. 「表から RDF」(IMI Data Converter) を公開

### V. IT 人材育成

1. 平成 27 年度秋期情報処理技術者試験の受験申込みの受付を開始

## I. 今月のトピックス

### 1. 注意喚起「IPA の注意喚起メールを騙った不審メールに注意！」を実施 ～Microsoft 製品や Adobe 製品の注意喚起情報を悪用したメールを確認～

(担当理事：立石、担当センター長：頓宮)

IPA は、IPA の名前を騙った不審メールが出回っていることを確認しました。当該不審メールにはウイルス感染を目的とした添付ファイルが付いているため、注意喚起を 7 月 17 日（金）に実施しました。

外部組織より「IPA の名前を騙った不審メールが届いた」と 7 月 17 日に情報提供があり、IPA が確認したところ、IPA が 7 月 15 日に発信した Microsoft 製品や Adobe 製品に関するセキュリティ対策情報が用いられており、IPA からのメールニュースを模した内容となっていました。当該不審メールの特徴は以下の 2 点です。

- ・送信元がフリーメールであった
- ・本来のメールニュースには無いはずの「添付ファイル」がある

IPA からのメールニュースに添付ファイルがある場合は、不審メールである可能性が高いため、そのようなメールは開封しないでください。また、不審メールが HTML 形式である場合、本文内のリンクがマルウェア感染を目的とした URL に偽装されている場合がありますので、安易にクリックしないでください。

注意喚起「IPA の注意喚起メールを騙った不審メールに注意！」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/about/press/20150717.html>

### 2. 「情報の価値を最大化する『共通語彙基盤』セミナー～“つながる”データ“つながる”システム～」仙台・札幌・大阪会場開催のご案内と福岡開催の開催報告

(担当理事（本部長）：立石、担当センター長：田代)

IPA は、9 月 3 日（木）仙台合同庁舎 6 階会議室（宮城県仙台市）、9 月 4 日（金）札幌第一合同庁舎（北海道札幌市）、9 月 11 日（金）阪急グランドビル（大阪府大阪市）、9 月 17 日（木）駅南貸会議室 KENTO（新潟県新潟市）で、「情報の価値を最大化する『共通語彙基盤』セミナー～“つながる”データ“つながる”システム～」を実施します。また、7 月 14 日（火）には九州経済産業局大会議室（福岡県福岡市）で開催しました。

IPA は「共通語彙基盤」への理解を広げるために福岡会場をスタートして、全国でのセミナーを開始しました。

IT 戦略である「世界最先端 IT 国家創造宣言」、それを受けた「電子行政分野におけるオープンな利用環境整備に向けたアクションプラン」等では、IT 社会にとって、そこで用いられる「データ」や「ことば」に統一性を持たせることが重要と指摘しています。これは、組織内での情報連携やオープンデータとして公開する情報の意味を誤解することなく、効率的に活用できるようにするためです。

IPAでは、データで用いられる言葉の意味や構造を整理するとともに、それに基づいて情報を効率的に構築するためのツールの開発等を行う「共通語彙基盤」事業を推進しています。

本セミナーでは、効率的なオープンデータの構築を目指している先進自治体の事例を中心に、実際にどのようにして「データ」を活用して行くかについてデモを交えながら、説明を行います。

地方公共団体や企業のオープンデータやシステムに関わる担当者、関連ベンダー、ソフト開発コミュニティ、データ構築コミュニティ等に係る皆様の幅広いご参加を期待しています。

また、7月14日（火）に実施した福岡会場では、オープンデータに対して問題意識を持つ多くの皆様にご参加いただき、積極的なご意見やご質問を受け、九州地区での現状を目の当たりにすることが出来ました。今後、共通語彙基盤を進めて行く上での大きな手応えを得ることが出来ました。

本イベントの詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://goikiban.ipa.go.jp/node1060>

## Ⅱ. セキュリティセンター

### 1. 8月の呼びかけ「ウイルスを検出したと音声で警告してくるウェブサイトにご注意！」を公開

～ウイルス検出の偽警告に騙されないで～

(担当理事（本部長）：立石、担当センター長：頓宮)

IPAは、情報セキュリティに関する8月の呼びかけを8月4日（火）に公開しました。呼びかけ内容は、以下のとおりです。

「ウイルスを検出したと音声で警告してくるウェブサイトにご注意！」

2015年5月以降「『あなたのパソコンでウイルスが検出されました』という音声があるパソコンから聞こえた」という相談がIPAに寄せられるようになりました。不安を覚えた利用者が慌てて電話をかけると、結果的に遠隔サポートとソフトウェアの購入を案内されたとのこと。これはパソコンに不慣れな利用者を騙してソフトウェアの購入を促す新たな手口と考えられます。

今月の呼びかけでは、この新たな手口について、実際のウイルス検出を警告する音声メッセージを紹介しながら手口と対策について解説します。

2015年8月の呼びかけの詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/txt/2015/08outline.html>

## 2. 注意喚起「ウェブサイトへのサイバー攻撃に備えた定期的な点検を」を実施 ～安全なウェブサイトの運用のために定期的な点検作業をルーチンワークに～

(担当理事：立石、担当センター長：頓宮)

IPAは、ウェブサイトへのサイバー攻撃が後を絶たない状況を踏まえ、ウェブサイト運営者および管理者に対し、新たに点検項目とその目的や頻度を示し、基本の対策と共に実施することを呼びかけるため、注意喚起を7月14日(火)に実施しました。

6月以降国内の企業・組織のウェブサイトが標的型攻撃の踏み台として悪用されている事実が確認されています。また、先月には海外のハッカーグループがハッキングに成功したウェブサイトを公表しましたが、その中には国内ウェブサイトが多数含まれていました。被害の回避、低減のため、ウェブサイトの運用管理において、以下の項目を重点的に点検してください。

- ・ 利用製品（プラグイン等追加の拡張機能も含む）の最新バージョンの確認
- ・ ウェブサイト上のファイルの確認
- ・ ウェブアプリケーションのセキュリティ診断

注意喚起「ウェブサイトへのサイバー攻撃に備えた定期的な点検を」の詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/about/press/20150714.html>

## 3. 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況 [2015年第2四半期(4月～6月)]

(担当理事(本部長)：立石、担当センター長：頓宮)

IPAは、2015年第2四半期(4月～6月)の脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia」(ジェイブイエヌ アイ・ペディア)の登録状況を「脆弱性対策情報データベース JVN iPediaに関する活動報告レポート」としてまとめ、7月22日(水)に公開しました。

2015年第2四半期に、脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia」日本語版に登録された脆弱性対策情報は1,479件で、2007年4月25日の公開開始からの登録件数は累計54,714件となりました。

Windows Server 2003のマイクロソフトによる公式サポートが2015年7月15日に終了しました。今後は深刻な脆弱性が発見・公開されても、修正プログラムは提供されません。システムの管理者は、極力ベンダーがサポートするバージョンへの移行や不要な場合には該当ソフトウェアの利用停止などの対応を行ってください。

脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況の詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/report/JVNiPedia2015q2.html>

#### 4. ソフトウェア等の脆弱性関連情報に関する届出状況

[2015年第2四半期(4月～6月)]

～今期 JVN に公表された 42 件の脆弱性対策情報の内、12 件 (28.6%) は遠隔操作される可能性～

(担当理事(本部長):立石、担当センター長:頓宮)

IPA は、2015 年第 2 四半期 (4 月～6 月) の脆弱性関連情報の届出状況を「ソフトウェア等の脆弱性関連情報の取扱いに関する活動報告レポート」としてまとめ、7 月 23 日 (木) に公開しました。

今四半期の脆弱性情報の届出件数は 163 件 (前四半期比 約 34%減) で、内訳はソフトウェア製品に関するものが 88 件で累計 2,123 件、ウェブサイト (ウェブアプリケーション) に関するものが 75 件で累計 8,939 件でした。これにより、2004 年 7 月の届出受付開始からの累計は 11,062 件となりました。

ソフトウェア等の脆弱性関連情報に関する届出状況の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/report/vuln2015q2.html>

#### 5. コンピュータウイルス・不正アクセスの届出状況および相談状況

[2015年第2四半期(4月～6月)]

～スマートフォン向けワンクリック請求の相談が 348 件と過去最多に～

(担当理事(本部長):立石、担当センター長:頓宮)

IPA は、2015 年第 2 四半期 (4 月～6 月) のコンピュータウイルス・不正アクセスの届出および相談の状況をまとめ、7 月 24 日 (金) に公開しました。公開内容の概要は、以下のとおりです。

##### (1) コンピュータウイルス届出状況

今四半期のウイルス届出件数は 772 件 (前四半期比 約 17.6%減) でした。ウイルス検出数は 13,683 個 (前四半期比 約 70.2%増)、不正プログラム検出数は 84,483 個 (前四半期比 約 12.9%増) でした。

##### (2) コンピュータ不正アクセス届出状況

今四半期の不正アクセス届出件数は 30 件 (前四半期比 約 11.8%減) でした。

##### (3) 情報セキュリティ安心相談窓口の相談状況

今四半期のウイルス・不正アクセス関連の相談件数は 3,708 件 (前四半期比 約 12.0%増) でした。

コンピュータウイルス・不正アクセスの届出状況および相談受付状況の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/about/press/20150724.html>

## 6. サイバー情報共有イニシアティブ（J-CSIP） 運用状況

[2015 年第 2 四半期（4 月～6 月）]

（担当理事（本部長）：立石、担当センター長：頓宮）

IPAは、2015 年第 2 四半期（4 月～6 月）の「サイバー情報共有イニシアティブ」（J-CSIP<sup>1</sup>）の活動内容をまとめ、7 月 31 日（金）に公表しました。

今四半期の活動では、参加組織が 59 組織から 61 組織に増加し、104 件の情報提供を受け、IPA による分析を経て、参加組織へ 27 件の情報共有を行いました。

J-CSIP の運用状況の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/J-CSIP/index.html>

## 7. 重要なセキュリティ情報（7 月）

（担当理事（本部長）：立石、担当センター長：頓宮）

IPAでは、インターネットを使っている多くの利用者が影響を受けるセキュリティ対策情報を対象に「重要なセキュリティ情報<sup>2</sup>」として公開しています。

「重要なセキュリティ情報」とは、放っておくと不正アクセスやデータが盗まれるなどの危険性が高いセキュリティ上の問題と対策についてお伝えするもので、IPA 情報発信では 2013 年 12 月より広く啓発するため記載しています。発信情報から、ご自身の PC やシステムへの影響を判断の上、速やかな対策を心がけてください。

7 月は、「緊急」5 件、「注意」6 件を公開しました。

重要なセキュリティ情報の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/announce/alert.html>

## Ⅲ. ソフトウェア高信頼化センター（SEC）

### 1. 「2015 年度 JUAS システム開発・保守 QCD 研究プロジェクト合宿」にて講演

（担当理事（本部長）：立石、担当所長：松本）

IPA は、7 月 10 日（金）から 7 月 11 日（土）にかけてホテルクラウンパレス浜松（静岡県浜松市）で開催された「2015 年度 JUAS システム開発・保守 QCD 研究プロジェクト合宿」にて講演しました。

本イベントは、一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（JUAS）が主催するもので、今年度の IT のシステム開発・保守 QCD（システム開発や保守における品質、コスト、納期）研究プロジェクトのテーマを集中的に討議し、年間を通してのベースラインを設定することを目的に開催しています。

<sup>1</sup> J-CSIP: Initiative for Cyber Security Information Sharing Partnership of Japan

<sup>2</sup> 「重要なセキュリティ情報」は、次の基準で対策の緊急度を表しています。

「緊急」・・・影響度の高いセキュリティ上の問題があると公表された情報でかつ、当該問題を悪用した攻撃が実際に行われているケース。

「注意」・・・影響度の高いセキュリティ上の問題があると公表された情報又は、当該問題を悪用した攻撃が行われる可能性があるケース。

IPA は本イベントにおいて、討議のための背景知識の提供・共有を目的とした基調講演の一つとして、組織目標達成と IT 導入の整合性を図るための手法 GQM+Strategies の具体的な活用法について講演を行いました。

本イベントには 41 名の方に参加いただき、受講者アンケートでは「GQM+Strategies についてよく理解できた」、「使えそうだった」といった声が寄せられた一方、「類似のもっと知名度の高い手法があるにもかかわらず GQM+Strategies を取り上げる意義がわからなかった」といった意見もいただきました。IPA では、これらの意見を踏まえて今後も講演活動を続けていきます。

## 2. 「IT 検証フォーラム 2015」にて講演

(担当理事 (本部長) : 立石、担当所長 : 松本)

IPA は、7 月 15 日 (水) に東京大学 伊藤国際学術研究センター (東京都文京区) で開催された「IT 検証フォーラム 2015」にて講演しました。

本フォーラムは、IT 検証 (テスト・評価) サービス業界の健全な発展と産業としての確立に取り組んでいる一般社団法人 IT 検証産業協会 (IVIA) が主催するもので、今年度は、「IoT 時代と第三者検証」をテーマとし、社会変化の流れの中での検証のあり方、役割、そして今後の方向性についての基調講演とパネルディスカッションを行いました。

IPA は本フォーラムにおいて、パネルディスカッションの場でパネラーとして第三者検証についての IPA の見解を述べ、討議に参加しました。

本フォーラムには 395 名の方に参加いただき、受講者アンケートでは「フリーのディスカッションで本音が聞けて良かった」、「普段気付かないような IoT の話が聞けて良かった」、「IPA の活動は心強い」などの声が寄せられました。IPA では、これらの意見を踏まえて今後も講演活動を続けていきます。

「IT 検証フォーラム 2015」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ivia-forum.jp/>

## 3. 「2015 年度第 1 回 ITC 近畿会セミナー「IPA/SEC セミナー」にて講演

(担当理事 (本部長) : 立石、担当所長 : 松本)

IPA は、7 月 25 日 (土)、大阪市立生涯学習センター (大阪府大阪市) で開催された「2015 年度第 1 回 ITC 近畿会セミナー「IPA/SEC セミナー」」にて講演しました。

本セミナーは、近畿地域における IT コーディネータのコミュニティ組織であり、経営と IT に関わる諸問題に取り組んでいる「ITC 近畿会」が主催するもので、IT の最新動向についての情報共有を目的に開催しています。

IPA は本セミナーにおいて、ソフトウェア開発における品質、コスト、納期 (QCD) を維持し、さらに向上していくための取り組みである「プロセス改善」や、組織目標達成と IT 導入の整合性を図るための手法 GQM+Strategies、IT システムの障害事例情

報共有と事例分析による障害に対する経験やノウハウの教訓化など、これまで IPA が取り組んできた活動やその成果について講演しました。

本セミナーには 26 名の方に参加いただき、受講者アンケートでは「手法やツールの使い方、導入した企業の声など、より詳細な内容のセミナーを開催して欲しい」、「東京以外でのセミナーの開催や Web 上でのセミナーを増やし、地方の方が参加しやすいようにして欲しい」などの声が寄せられました。IPA では、これらの意見を踏まえて今後も講演活動を続けていきます。

「2015 年度第 1 回 ITC 近畿会セミナー「IPA/SEC セミナー」」の詳細については、次の URL をご覧ください。

[http://itckinki.jp/article.php/20150725\\_1st\\_seminar](http://itckinki.jp/article.php/20150725_1st_seminar)

#### 4. SEC セミナー開催報告（7 月）および開催案内（8 月）

（担当理事（本部長）：立石、担当所長：松本）

IPA は、事業成果を広く普及・啓発することを目的としたセミナー、ソフトウェア・エンジニアリングに関する国内外の最新動向などを紹介する特別セミナーをそれぞれ実施しています。

7 月は、次の日程で実施しました。

- ・アジャイル開発実践セミナー

「アジャイル型開発におけるプラクティス活用リファレンスガイド」の勘所と活用方法

（7 月 8 日）

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150708.html>

- ・事例から学ぶ IT サービスの高信頼化へのアプローチ

～障害事例の分析から導かれた情報処理システム高信頼化教訓集～

（7 月 10 日）

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150710.html>

- ・「非機能要求グレード」実践セミナー

～システム基盤の非機能要件定義を講義と演習で身につける～

（7 月 15 日）

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150715.html>

- ・SEC 高信頼化技術適用事例セミナー

D-Case の適用事例に学ぶ、合意形成と説明責任

（7 月 17 日）

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150717.html>



- ・ ESCR+ESPR 解説セミナー  
～組み込みソフトウェア品質向上の土台を築く標準リファレンス～  
(7月22日)  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150722.html>
- ・ 『ゴール指向経営』 的を射た IT 投資、利益を生む組織に  
～「GQM+Strategies」の活用で組織内の整合性確保と定量的管理を実現～  
(7月29日)  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150729.html>
- ・ IoT時代のセーフティ設計『見える化』  
～今求められるセーフティ設計と見える化の技術～  
(7月30日)  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150730.html>
- ・ 第2回 定量的マネジメントセミナー  
(7月31日)  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150731.html>

8月は、次の日程で開催を予定しています。

- ・ 上流工程での合意形成を目指して  
～非機能要件と外部設計の合意形成のための手法とコツ～  
(8月5日)  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150805.html>
- ・ 定量データに基づく開発マネジメントでIoT時代の信頼性・生産性向上を目指せ！  
～「ソフトウェア開発データ白書」と「組み込みソフトウェア開発データ白書」から垣間見える信頼性の実態～  
(8月7日)  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150807.html>
- ・ ITプロジェクトの見える化と定量的管理の理論から実践まで  
～見える化の概念、チケット&計測、可視化手法、ツール活用～  
(8月21日)  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150821.html>
- ・ 共通フレーム解説とプロセス改善推進セミナー  
～ソフトウェア開発プロセスにおける組織の課題を見つけて改善するために～  
(8月26日)  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150826.html>

- ・ 価値の多様化時代に要求される品質とは？  
～ 一歩先を行く品質の視点、SQuaRE の活用～  
(8月28日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150828.html>

#### IV. 国際標準の推進

##### 1. 「表から RDF」(IMI Data Converter) を公開

(担当理事(本部長): 立石、担当センター長: 田代)

IPAは自治体等が保有する既存のデータを、共通語彙基盤事業(IMI<sup>3</sup>)で整理した基本語彙<sup>4</sup>(IMI語彙)を利用した構造化データに変換するまでの一連の作業を支援するツール、「表からRDF」(IMI Data Converter)を7月14日(火)に公開しました。

本ツールは、自治体等が保有する既存のCSVやMicrosoft Excel等の表形式データを、IMI語彙を利用した構造化データに変換し、オープンデータとして活用しやすいXML<sup>5</sup>やRDF<sup>6</sup>のファイルフォーマットで出力を行う一連の作業を支援するものです。また、新規にデータを作成する場合や元となるデータが電子化されていない場合においても、同様にIMI語彙を利用した構造化データを作成することが出来ます。

IPAでは、本ツールが自治体等で利用されることにより効率的にオープンデータが活用されることを期待します。

本ツールの詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://imi.ipa.go.jp/tools/0051/>

#### V. IT人材育成

##### 1. 平成27年度秋期情報処理技術者試験の受験申込みの受付を開始

(担当理事(本部長): 田中、担当センター長: 山城)

IPAは、10月18日(日)に実施する平成27年度秋期情報処理技術者試験(所管: 経済産業省)の受験申込みの受付を7月13日(月)から開始しました。受験の申込みは、郵便窓口やインターネットで行えます。申込方法によって締切日時が異なりますので注意してください。

###### ■ 個人申込み

願書郵送申込み : 7月13日(月) ~ 8月10日(月) 消印有効  
インターネット申込み : 7月13日(月)10時 ~ 8月21日(金)20時

<sup>3</sup> IMI (Infrastructure for Multilayer Interoperability) : 共通語彙基盤。

<sup>4</sup> 基本語彙: 多くの分野で共通に用いられる基本的な用語(氏名、施設、地点等)について、その意味や関連性を整理し、コンピュータが理解しやすい形式に整理した物。

<sup>5</sup> XML(Extensible Markup Language): 構造化データの表現形式に係る国際規格の一つ。

<sup>6</sup> RDF(Resource Description Framework): 構造化データの表現形式に係る国際規格の一つ。電子文書の中に出てくる用語の関係性や注釈を記述するために用い、コンピュータが活用しやすい文書を作ることができる。

■ 団体経由申込み

7月13日（月）～ 8月10日（月）

※申込方法によって、締切時間が異なります。

実施する試験区分や願書の入手方法など、平成27年度秋期情報処理技術者試験の詳細については次のURLをご覧ください。

[http://www.jitec.ipa.go.jp/1\\_02annai/h27aki\\_exam.html](http://www.jitec.ipa.go.jp/1_02annai/h27aki_exam.html)

なお、「応用情報技術者試験」については、受験者が自らの担当業務や専門性に応じて自由に問題を選択できるように、今回の試験から午後試験における出題構成を変更します。詳細は次のURLをご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/about/press/20150512.html>

iパス（ITパスポート試験）については、GBT方式にて随時試験実施中です。申込方法などの詳細については次のURLをご覧ください。

<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

更新履歴

2015年8月11日	Ⅱ.5 コンピュータウイルス・不正アクセスの届出状況および相談状況 [2015年第2四半期（4月～6月）] （2） コンピュータ不正アクセス届出状況 【訂正前】（前四半期比 約12%減） 【訂正後】（前四半期比 約11.8%減）
2015年9月4日	Ⅱ.6 サイバー情報共有イニシアティブ（J-CSIP） 運用状況 [2015年第2四半期（4月～6月）] 【訂正前】 参加組織へ28件の情報共有を行いました。 【訂正後】 参加組織へ27件の情報共有を行いました。

問合せ先 独立行政法人 情報処理推進機構  
戦略企画部 企画・調査G 笛木・中山  
〒113-6591  
東京都文京区本駒込二丁目28番8号  
文京グリーンコートセンターオフィス  
TEL：03-5978-7503  
E-mail：spd-plan@ipa.go.jp